



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月6日

上場会社名 オカダアイオン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6294 URL <http://www.aiyon.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 祐司
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 前西 信男 TEL 06-6576-1281
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	4,660	16.9	429	16.7	432	17.0	298	22.1
2021年3月期第1四半期	3,985	△6.4	368	4.2	369	1.6	244	3.1

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 384百万円 (72.8%) 2021年3月期第1四半期 222百万円 (△12.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	37.31	37.11
2021年3月期第1四半期	30.65	30.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	23,227	11,544	49.6	1,438.81
2021年3月期	22,272	11,392	51.0	1,419.80

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 11,513百万円 2021年3月期 11,361百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	0.00	-	29.00	29.00
2022年3月期	-	-	-	-	-
2022年3月期 (予想)	-	0.00	-	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	8,900	5.3	770	4.6	770	1.5	480	4.3	59.98
通期	18,500	5.2	1,600	16.2	1,600	11.6	1,060	15.3	132.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	8,378,700株	2021年3月期	8,378,700株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	376,415株	2021年3月期	376,415株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	8,002,285株	2021年3月期1Q	7,978,885株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済及び世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大防止と経済活動再開の両立が求められる中、先進国を中心にワクチン接種も進みましたが、景気は引き続き感染状況に左右され、緩やかな回復ペースにとどまりました。

このような環境のもと、当社グループは従業員や関係する皆様方の感染防止に努めつつ、圧砕機、油圧ブレーカ等の解体環境アタッチメント、林業機械、大型環境機械、ケーブルクレーン等の営業活動に注力いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,660百万円（前年同期比16.9%増）、営業利益429百万円（前年同期比16.7%増）、経常利益432百万円（前年同期比17.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益298百万円（前年同期比22.1%増）と増収増益を確保いたしました。

当第1四半期連結累計期間のセグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結累計期間よりセグメント区分を変更しており、セグメント別の業績の比較・分析は、変更後のセグメント区分に組み替えて行っております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」をご参照ください。

国内セグメントは、売上高3,690百万円（前年同期比15.6%増）となりました。機種別には、主力の圧砕機は再開発やビル・工場等の建替需要が堅調な中、6月に開催した「OKADA大展示会」での受注等が大きく寄与し売上高は1,389百万円（前年同期比34.5%増）、金属スクラップ処理や木造解体、災害復興等の用途が見込まれるつかみ機は売上高271百万円（前年同期比25.2%増）、油圧ブレーカは売上高184百万円（前年同期比6.4%増）と解体環境アタッチメントは全体的に順調に推移しました。また、グループ連携による販売強化を進めている林業機械は売上高153百万円（前年同期比21.3%増）、ケーブルクレーン事業は再生可能エネルギーとして見直されている水力発電所の改修工事が引き続き順調で売上高268百万円（前年同期比20.7%増）となりました。アフタービジネスについては、原材料売上高が417百万円（前年同期比6.0%増）、修理売上高は188百万円（前年同期比5.6%増）と回復傾向となりました。一方、「OKADA大展示会」に関する一過性の費用が発生したこと等により、セグメント利益は272百万円（前年同期比3.4%増）と微増にとどまりました。

海外セグメントは、売上高969百万円（前年同期比22.2%増）となりました。今後、経済対策が期待される北米では売上高579百万円（前年同期比1.4%増）と微増にとどまりましたが、販売代理店網を順調に拡大している欧州は売上高179百万円（前年同期比78.1%増）、タイの現地法人化を進めているアジア地域は売上高160百万円（前年同期比46.9%増）と共に増収となりました。アメリカ子会社にてコロナ対策の「給与保護プログラム（PPP）」が認可されたことも寄与し、セグメント利益は162百万円（前年同期比26.6%増）と増益となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、23,227百万円（前連結会計年度末22,272百万円）となり954百万円増加しました。建設仮勘定が590百万円、商品及び製品が178百万円それぞれ増加したことが主な要因です。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、11,682百万円（前連結会計年度末10,880百万円）となり802百万円増加しました。短期借入金が408百万円、賞与引当金が115百万円それぞれ減少しましたが、長期借入金854百万円、支払手形及び買掛金が397百万円、1年内返済予定の長期借入金152百万円それぞれ増加したことが主な要因です。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、11,544百万円（前連結会計年度末11,392百万円）となり152百万円増加しました。剰余金処分の配当金支払232百万円を行いました。親会社株主に帰属する四半期純利益298百万円を計上したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階において2021年5月13日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の見直しを変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,301,514	4,313,322
受取手形及び売掛金	4,316,608	4,314,877
商品及び製品	3,381,212	3,560,164
仕掛品	388,499	430,555
原材料及び貯蔵品	2,340,293	2,429,200
その他	329,194	260,775
貸倒引当金	△1,356	△1,253
流動資産合計	15,055,967	15,307,643
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,601,440	2,574,152
機械装置及び運搬具(純額)	555,551	610,499
土地	2,332,992	2,336,976
建設仮勘定	194,469	785,364
その他(純額)	113,588	135,118
有形固定資産合計	5,798,042	6,442,112
無形固定資産		
のれん	62,840	52,367
その他	374,333	382,152
無形固定資産合計	437,174	434,519
投資その他の資産		
投資有価証券	333,087	350,353
長期貸付金	230,000	230,000
繰延税金資産	326,830	345,859
その他	94,665	119,857
貸倒引当金	△2,815	△2,884
投資その他の資産合計	981,768	1,043,186
固定資産合計	7,216,984	7,919,818
資産合計	22,272,952	23,227,461

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,744,168	3,141,546
短期借入金	3,318,652	2,910,159
1年内返済予定の長期借入金	555,136	707,498
未払法人税等	247,695	182,463
賞与引当金	225,781	110,285
その他	1,047,295	1,018,126
流動負債合計	8,138,729	8,070,078
固定負債		
長期借入金	2,176,488	3,030,806
退職給付に係る負債	478,785	487,466
その他	86,536	94,601
固定負債合計	2,741,809	3,612,873
負債合計	10,880,539	11,682,952
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,221,123	2,221,123
資本剰余金	2,271,774	2,271,774
利益剰余金	7,127,841	7,194,355
自己株式	△251,174	△251,174
株主資本合計	11,369,564	11,436,078
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,016	69,043
繰延ヘッジ損益	3,492	△765
為替換算調整勘定	△85,427	9,385
その他の包括利益累計額合計	△7,918	77,663
新株予約権	30,766	30,766
純資産合計	11,392,412	11,544,509
負債純資産合計	22,272,952	23,227,461

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	3,985,218	4,660,403
売上原価	2,765,461	3,265,408
売上総利益	1,219,757	1,394,995
販売費及び一般管理費	851,655	965,409
営業利益	368,101	429,585
営業外収益		
受取利息	2,460	1,511
受取配当金	5,883	4,985
固定資産売却益	479	1,079
貸倒引当金戻入額	1,084	42
その他	4,196	6,785
営業外収益合計	14,105	14,404
営業外費用		
支払利息	8,538	9,542
為替差損	3,824	—
その他	203	1,924
営業外費用合計	12,566	11,467
経常利益	369,640	432,523
税金等調整前四半期純利益	369,640	432,523
法人税等	125,089	133,943
四半期純利益	244,551	298,580
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	244,551	298,580

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	244,551	298,580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,215	△4,973
繰延ヘッジ損益	1,599	△4,257
為替換算調整勘定	△43,044	94,813
その他の包括利益合計	△22,230	85,582
四半期包括利益	222,320	384,162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	222,320	384,162
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

1. 収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱に従っておりますが、利益剰余金の期首残高へ与える影響はありません。

また、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響もありません。

2. 時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、当第1四半期連結累計期間の連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に関するその他の事項)

当社の連結子会社であるOkada America, Inc. が米国の新型コロナウイルス感染症に係る雇用保護政策であるPaycheck Protection Program(給与保護プログラム)ローンを申請し借入れしていましたが、借入金の債務免除条件となっていた雇用保護を目的とする従業員給与等の支払に使用したことにより、返済が免除され、助成金の支給額43,148千円を販売費及び一般管理費から控除しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,191,421	793,797	3,985,218	—	3,985,218
セグメント間の内部売上高又は 振替高	104,372	1,683	106,056	△106,056	—
計	3,295,794	795,480	4,091,274	△106,056	3,985,218
セグメント利益	263,298	128,109	391,407	△23,306	368,101

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△23,306千円の内訳は、のれんの償却額△10,473千円及びセグメント間取引消去△12,832千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,690,419	969,984	4,660,403	—	4,660,403
セグメント間の内部売上高又は 振替高	147,264	3,403	150,668	△150,668	—
計	3,837,683	973,388	4,811,071	△150,668	4,660,403
セグメント利益	272,237	162,153	434,390	△4,805	429,585

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△4,805千円の内訳は、のれんの償却額△10,473千円及びセグメント間取引消去5,668千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、今後の事業展開を踏まえ合理的な区分の検討を行った結果、オカダアイヨン株式会社と株式会社南星機械の営業所を一体管理していく体制が整ったこともあり、報告セグメントを従来の「国内」、「海外」及び「南星」の3区分から、「国内」及び「海外」の2区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分表示により作成したものを記載しております。